

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	はるかぜ		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 7日		令和7年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 15人
○従業員評価実施期間	令和7年 2月 18日		令和7年 2月 27日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・パソコン検定を事業所内で開催し、資格を取れるよう支援を行う。	・試験対策としてのポイントを分かりやすく教えていく。	・ワード、エクセルだけではなく、パワーポイントやCADなど、より就職に有利になるパソコンプログラムを取り入れていける準備を行う。
2	・取り組めた活動に対しポイントを付け、ポイントを仮想通貨に換金し、事業所内の駄菓子屋でお買い物ができる。	・ポイントがどれだけ溜まっているのか表にまとめ、ポイントの計算をし、算数力も身に付ける。	・仮想通貨の単位が1000までしかないので、大きな単位の通貨を作り、その通貨を獲得できるようやる気や張り合いを持てるよう支援を行う。
3	・利用者様自身で行う活動の計画を立てていく。	・自分で時計の針を見て、時間の計算をしていく。またストップウォッチを使用し、活動の切り替えができるよう支援している。	・自分が行っている活動に何分使っているのか、目的に対しどのくらいの時間を要するのか逆算ができるよう支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・プログラムが固定化してしまい、支援が柔軟に行えていない時がある。	・利用者様それぞれで苦手なプログラムがあり、「どうしてもできない」「今は気分じゃない」「面倒くさい」との意見があります。	・苦手を克服することばかりに目を向けるのではなく、本人さまが興味や意欲を持って取り組めるプログラムの再編を検討していきます。
2	・地域との関わりを構築できていない。	・事業所内のみでの関わりになってしまう。	・障がいや特性、個性を知ってもらえるよう、まずは管理者や責任者が地域との関わりを模索していく。事業所独自のイベント開催などを検討していきます。
3	・保護者様との積極的な関わりを構築できていない。	・保護者様との時間の兼ね合いもあり、保護者会を開くことが難しい。	・少人数でも保護者会やオンラインでの開催を目指していく。